

若手・女性研究者奨励金にご支援を賜りました
寄付企業法人や寄付者の皆様へ



受賞者から御礼の言葉

2021年度（第4回）若手研究者奨励金 受賞者

海堀 祐一郎

姫路獨協大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

唾液腺機能を制御する分子群の同定

—唾液腺制御機構の包括的理解を目指して—

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究助成により、唾液腺の機能や組織構築の一端を解明することが出来ました。唾液は生存に必須の因子ではないものの、唾液量の低下により口腔内が乾燥すると、炎症や味覚異常を引き起こし、人々の生活の質を低下させます。そのため、本研究をさらに発展させ、加齢などにより唾液が低下した方々への治療に繋がりたいと考えています。

また、本研究の助成により、唾液腺の制御に関与することが示唆された遺伝子を組織特異的に欠損できるマウスを購入することが出来ました。誠に感謝いたします。この遺伝子は、様々な組織での機能制御に必須であることから、唾液腺のみならず、全身の外分泌腺での機能制御の解明にも繋がるのではないかと期待しております。

笠井 翔太

西武文理大学 看護学部 看護学科 講師

〔研究課題名〕

地域精神科医療へのオープンダイアログの有効性に関する研究
－オープンダイアログ実践者の経験の語りからの考察－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

ご支援いただいた皆さま、この度は誠にありがとうございました。私学事業団の若手研究者奨励金を獲得したことにより、研究者としての自分自身を見つめ、社会に向けて自分は何ができるのかと改めて考えるきっかけとなりました。また、本研究のように既存の精神科医療を問い直すような内容の研究にご理解いただき、ご支援いただけるようになったことに、とても勇気や希望をいただきました。研究者として研究をすすめていくことに、背中を押された思いです。

ぜひ、今後ともこのような若手研究者に勇気や希望を与える支援事業を継続していただきたいと思います。

今後も一人ひとりが尊重される社会を目指して、対話の研究者として、そして対話の実践者として精進していきたいと考えております。この度は誠にありがとうございました。

戸川 和成

千葉商科大学 政策情報学部 助教

〔研究課題名〕

コロナ禍における市民の行動変容とソーシャル・キャピタルの研究

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究課題に対して、若手研究者奨励金を授与していただき、誠にありがとうございました。本奨励金を賜り、災害時の初動対応に欠かせない社会関係資本の役割をコロナ禍においても見出すことができました。言い換えれば、日常生活の中で培われる社会関係資本が非常事態において如何に重要であるかを学ぶことが出来ました。

今後は本研究の知見を踏まえて、「社会にとって望ましい決定とは何か」を社会関係資本から研究し、市民が生きづらさを感じる負担を減らすことが可能な暮らしの地域社会運営を解明し、国際比較研究へと発展させていきたいと考えます。

村瀬 瑠美

千葉敬愛短期大学 現代子ども学科 専任講師

〔研究課題名〕

オノマトペに対する幼児の定型的な身体表現と自分なりの身体表現
－保育者の用いるオノマトペと自由遊び中のオノマトペに着目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、私の研究に対してのご支援、誠にありがとうございました。支援をしていただいたことで、新たな分析方法（質的分析ソフトによる解析）にチャレンジすることができ、今まで焦点を当てられなかった角度からデータを見ることができました。また、新たな知見を得られ、研究者として次のステージに進み、社会に知見を還元している実感を得ることができました。得られた結果は学術論文に投稿中であり、学会発表も予定しています。

本当にありがとうございました。支援していただいたことを忘れず、研究にさらに精進し、社会に貢献できるような成果を発表していきたいと思っております。

成田 隆明

千葉工業大学 先進工学部 生命科学科 助教

〔研究課題名〕

微生物の形態形成をモデルとした表現型可塑性の分子基盤の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

表現型可塑性という生命現象は、環境条件に応じて表現型を変化させる能力で、ヒトを含めた多くの生物がもつ能力です。例えば、「幼い頃からバレーボールやバスケットボールをやっていた人は背が高い」などによく言われますが、これも表現型可塑性と考えることができます。つまり本研究は、多くの人が「理由は分からないけれど、当たり前のこと」と思っている現象を、科学的に理解しようとしています。今後、本研究によって表現型可塑性の分子基盤が明らかとなれば、「当たり前」と考えられている現象がなぜ生じるのか理解でき、未来の子供たちの成長や子育てにも役立つ情報を提供できると期待しています。また、表現型可塑性を示すことで有名なアブラムシによる農業被害が世界中で問題になっており、この問題の解決にも貢献できると確信しています。

今回ご支援いただきました研究奨励金により、細胞性粘菌という新たなモデル生物を使用した表現型可塑性の研究が可能となったため、今後、表現型可塑性という生命現象の解明が劇的に進んでゆくと確信しています。本研究の可能性をご理解いただき、ご支援いただいた日本私立学校振興・共済事業団ならびに関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

これからも日本の基礎研究分野を支えるべく、当該研究に邁進してゆきたいと考えておりますので、今後も継続的なご理解を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

西宮 康次郎

青山学院大学 理工学部 助教

〔研究課題名〕

機械学習を用いた楽器の発音機構の解明と音色の工学的評価

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を行うにあたり、研究費をご援助下さいました日本私立学校振興・共済事業団の皆様ならびにご寄付を下さいました企業や個人の皆様に、心より御礼申し上げます。

まだ拙いながらも一生懸命に研究を行い、僅かばかりの成果も少しずつ出せております。本研究成果は皆様のご協力のおかげに依るところが何よりも大きく、本支援が無ければ達成出来ませんでした。私の研究は最先端の分野というわけではありませんが、人の心に響く音楽を広めるためにも様々な方面から研究を進めております。音楽は直接人の命を救うものではないかもしれませんが、言葉の壁を越え世界中で親しまれているものであり、音楽を聴いて心を豊かにする事自体が平和な世界の創出にかけがえのないものであると信じております。この信念の一部を今回具体化させて貰いました事に、改めまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。そして今後とも引き続き、何卒宜しくお願い申し上げます。

岡田 大樹

専修大学 文学部 助教

〔研究課題名〕

ウィリアム・フォークナーの「語り手」の特異な振舞い

— 『墓地への侵入者』における登場人物と読者の情報格差について—

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究に奨励金を拝受したことで、とても実り多い研究を行なうことができたと考えている。遺憾ながら当初の最終的な目的まで到達することは叶わなかったが、「語り手」の生成を問ううち「人格」概念を掘り下げる機会を得たことで、一作家の草稿研究という微視的な専門と、ゴシック小説史という広域的な専門、幾年かギャップに悩み続けてきた両者を橋渡しすることができ、より太く束ねられた主題へと収斂させることができたと実感している。

「人格」の一貫性を人間の自明の根拠と定めたとき、人間という領域から疎外されてしまう者が生じてしまう。心を患ったまま亡くなっていった知人たちを呆然と見送ることしか出来なかった身にとって、この機序を言語化できたことは切実な進展だった。いまだ詳細な検討に付してはいないが、言葉と人間を媒介する「語り手＝人格」の問題は小説研究の領域に留まらず、当事者研究やナラティブ・アプローチといったケア／セラピーの分野にも接続され得るのではないかと期待している。

森山 侑輝

中央大学 理工学部 生命科学科 助教

〔研究課題名〕

イベリアトゲイモリにおける再生様式遷移スイッチの探索
－非再生動物を再生させる第一歩－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究助成金の為に寄付をしてくださった企業様や社会一般の皆様には第一に感謝の気持ちをお伝えしたいです。そして、日本の科学の発展には科研費よりも本助成金のような支援制度が非常に重要であるということをお伝えしたいと同時に、今後のご支援の継続を未来の研究者のためにお願いしたいです。

現在の日本において科研費を獲得できない若手研究者の将来は割と悲惨だと思います。科研費の獲得には近い将来に論文が出るのが予想される、いわば「ある程度形になっている研究」が必要です。そのある程度かたちになる研究がなされるためには科研費のスタートアップあるいは若手で科研費を獲得することが必要です。そこで漏れた場合は研究費がない為、直属の教授や知り合いの研究者等の研究費で研究をするしかありません。その研究費を使用させていただくには、「自由」がなく、場合によっては対価を払うことになる場合もあると聞きます。その状況を打破するために自腹を切って試薬を購入して研究する研究者もいます。つまり、科研費を得るために様々な面において、まさに身を削ると言う事を強いられます。しかし、本研究助成金はそのような科研費を獲得することが叶わなかった研究者に対して、経済的に、そしてなによりも精神的に支援して下さるものとなります。今回の私の結果は予想していたものとは程遠く、自身の研究を発展させるには至りませんでした。本助成金のおかげで、特に精神的に健全に研究活動を行うことができました。ぜひ、支援者の皆様には日本の若手研究者、そして、日本の科学の未来を支えていることに誇りを持って頂き、末長く支えて頂きたいと思っております。

本助成金のおかげで1年間、健全に研究活動が行えました。改めて感謝の気持ちを述べさせていただくと共に、引き続きの支援をよろしくお願い申し上げます。

菊川 忠臣

帝京大学 医療技術学部 スポーツ医療学科 救急救命士コース 講師

〔研究課題名〕

心肺蘇生法における救助者の疲労軽減に関する研究
－身体補助具の装着による効果－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究における多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

本研究は、心肺蘇生法の質を追究することのみならず、それを実施する救助者の負担を軽減する方法を模索するものであります。医療・介護業界をはじめ、スポーツ業界、警備保障業界、教育業界等、さまざまな現場で心肺停止傷病者は発生し、そこに居合わせた救助者がより効果的かつ効率的に蘇生を行える方策を今後も検討していく所存であります。

今後も本研究の更なる発展に御協力いただければ幸いに存じます。

大竹 恒平

東海大学 情報通信学部 助教

〔研究課題名〕

マイクロインフルエンサーの形成過程の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回、本研究を遂行するにあたり研究奨励金をご支援いただきました日本私立学校振興・共済事業団および関係者各位に心より感謝申し上げます。

今回ご支援いただきました研究奨励金により、消費者行動理解に繋がる新たな知見を獲得することが出来ました。プラクティカルかつ萌芽的な研究である本研究の可能性をご理解いただき、大変感謝しております。

今後も引き続き、マーケティング・サイエンス領域における消費者行動理解に向け、研究活動に邁進してまいります。

苫米地 祐輔

東海大学 工学部 講師

〔研究課題名〕

二層界面を利用したグリコシル化反応の開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究課題に対して若手研究者奨励金を授与していただき、誠にありがとうございました。

本研究のような基礎研究は、すぐに応用・実践に繋がるものではないため、その学術的意義は理解されにくいかと思います。しかしながら、当該手法を確立することができれば、原理的には β マンノシドなどの糖鎖合成に限らず、有機化学全般へ貢献できる手法となることを確信しています。具体的には立体選択的な有機反応に関わる医薬品、農薬、機能性材料や香料、調味料などの産業分野へ波及する技術へと発展することが期待できます。今回得られた研究成果をもとに、さらに研究を進めることが可能となりましたので、実用化できるよう今後も精進して参りたいと思います。

2017年に教員となってから毎年科研費へ応募しているものの、不採用という結果が続き自信がなくなっておりましたが、今回皆様にご支援いただいたことで大変励みになりました。心より感謝申し上げます。

高倉 枝里子

東京歯科大学短期大学 助教

〔研究課題名〕

歯周病患者における口腔内細菌叢の網羅的解析
－歯周基本治療が口腔内細菌叢に与える効果－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を遂行するにあたり、研究者奨励金をご支援いただきました日本私立学校振興・共済事業団および関係者各位に心より感謝申し上げます。

今回ご支援いただきました研究奨励金により、歯周ポケット内プラークの細菌叢の病原性と組成の変化の解明に向けた一歩を踏み出すことが出来ました。

今後も研究活動に邁進し、人々の健康寿命の延伸に寄与していけるよう精進して参ります。

多々良 涼一

東京理科大学 理学部第一部 応用化学科 助教

〔研究課題名〕

リチウムイオン電池用複合電極の電気化学インピーダンス解析

寄付者の皆様へ〔御礼〕

交流インピーダンス法は電気化学を扱う大学研究室・企業で広く用いられる手法である。手法自体は一般的であっても、こと複合電極の測定、特に3極式測定にはその複雑さから大きな困難があった。このような測定系で、より明快かつ厳密な帰属を解明する本研究は電気化学インピーダンス法の進歩及び普及といった面からも大きく貢献できると考える。また、産業で電池セルに実際に使用される電極は「複合電極」であり、これまで厄介な解析として知られていた複合電極のインピーダンス解析をより明瞭な帰属モデルで解明することは、産業レベルでの作製電極診断においても大きく貢献できると言える。今後はさらに、リチウムイオン電池用の機能性バインダー、さらには次世代蓄電池であるナトリウムイオン電池、カリウムイオン電池の評価にも応用し、更なる発展的研究へ繋げたい。

中瀬 恵亮

東京薬科大学 薬学部 臨床微生物学教室 助教

〔研究課題名〕

皮膚細菌由来新規抗MRSA物質の同定と機能解析

－新規抗菌薬開発に向けた新規抗MRSA物質の単離と解析－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

感染症の研究を通して、細菌の病原性だけでなく、有益性を評価したいと考えています。常在菌は、もともとヒトに定着している細菌であるため、新たな感染症を起こすリスクも非常に少なく、ヒトの健康に有益な作用を持っている可能性も高い。特に、皮膚の健康変化は非常に目につきやすいことから、医療用だけでなく、一般用医薬品、化粧品まで幅広い消費者ニーズがあります。自身の研究を製品化できるよう、エビデンスを構築し、興味を持っていただける方々にプレゼンテーションしていきたい。

長島 駿

東京薬科大学 生命科学部 助教

〔研究課題名〕

RNF185による褐色脂肪細胞の分化制御機構の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究課題に若手研究者奨励金を授与していただき、誠にありがとうございました。ご支援のおかげで、本研究を前進させることができました。

本研究課題に継続して取り組み、発展・飛躍させ、素晴らしい研究成果として報告できるように精進して参ります。研究を進め、肥満や生活習慣病を改善できるような創薬研究へと発展を目指して参ります。

伊藤 健彦

東洋大学 情報連携学部 助教

〔研究課題名〕

日本人の英語使用に影響を与える社会生態学的ネットワークの検討
—高流動性の地域と低流動性の地域の比較によって—

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究に関して支援していただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

今回の若手研究者奨励金が私にとって初めての外部競争的資金となります。この資金によって研究を滞りなく進めることが出来たのはもちろんのこと、自分が外部から資金を獲得できたことで自信となり、研究者としての未来が見えましたこと、本当に感謝しております。

評価していただいた本研究の成果を海外学術誌に掲載できたことで、支援者方々の思いを世界中に届けることができたと考えております。今後もぜひ研究交流をさせていただければ幸いです。

この度は本当にありがとうございました。

小沼 直子

日本大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

薬局におけるオンライン健康支援プログラムの開発と効果の検討

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を遂行するにあたり研究助成を賜りました、日本私立学校振興・共済事業団の関係者の皆様、支援者の皆様に心より感謝申し上げます。

今後も多職種と連携しながら、健康寿命延伸のための社会実装型研究や、運動器疾患予防策を確立するための基礎研究に邁進し、社会に微力ながら貢献できるよう努めてまいります。

石橋 真理子

日本医科大学 微生物・学免疫学分野 助教

〔研究課題名〕

骨髄腫環境下における抑制性樹状細胞の解析

－多発性骨髄腫における腫瘍特異的免疫抑制の克服に向けて－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は貴事業団2021年度若手・女性研究者奨励金助成に採択して頂き、心より御礼申し上げます。

今回の研究課題『骨髄腫環境下における抑制性樹状細胞の解析』の研究で得られた成果により、2022年度第47回日本骨髄腫学会学術集会において、演題題名「Metabolic factors in myeloma microenvironments promote tolerogenic phenotypes in dendritic cells」がプレナリー賞に選出されました。また、2022年8月にロサンゼルスで開催される19th International Myeloma WorkshopのTravel Awardも受賞することができました。これらを受賞することができたのも、ひとえに2021年度若手・女性研究者奨励金助成のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

今後はこれを励みに、社会に還元できるような研究を行っていきたいと思っています。

井上 一歩

聖マリアンナ医科大学 医学部 解剖学 助教

〔研究課題名〕

走運動による筋腎連関を介した腎臓病の進行抑制メカニズムの解明
－BDNF-TrkB系を介した腎保護の可能性－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、貴重な研究助成をいただき、心より感謝申し上げます。

残念ながら、運動による腎臓への好影響に対するBDNF-TrkB系の関与を示すことができませんでしたが、今回いただくことができた研究助成を無駄にしないためにも、筋腎連関の解明を継続して行い、患者の福祉向上を目指し研究を行っていく所存です。

黒田 絵莉子

金沢医科大学 総合医学研究所 助教

〔研究課題名〕

ミトコンドリア異常を可視化するマウスの開発

－老化関連疾患の病態解明および治療法開発を目指して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

医学・薬学分野に貢献できる発見や発明を将来にわたって行える研究者が理想であると考えている。そのために新しい技術や知見に貪欲な姿勢を保ち続けて、常に時代の先端を走る自分でいたい。また近年では留学する若手研究者が減っているようであるが、私自身は早いうちに海外での研究生活を経験して高い国際感覚を身に付けたいと考えている。

本研究の支援について大変感謝している。目標であるモデルマウスの開発には現時点で至っていないが、着実な前進は実感している。残された開発を可能なかぎり急いで大きな成果を生み出したいと考えている。

今後ともわれわれ若手研究者への継続的な支援をお願いしたい。

工藤 大介

東海学院大学 人間関係学部 心理学科 講師

〔研究課題名〕

フードファディズムを引き起こす心理的メカニズムの検討

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は研究に対する暖かいご支援を頂き、誠にありがとうございました。

昨今の若手・女性研究者を取り巻く環境は厳しく、選択と集中という方針の公的研究資金の面から、研究を続けていくことが困難となることがあります。その中で、皆さまからのご支援により、研究を止めることなく、歩みを進めていくことができています。

私の研究に関しましては、さらなる分析やブラッシュアップが必要といった課題が残っていますが、社会問題解決に向けた知見として意義あるものと考えております。今回の研究成果については、今後提言という社会の役に立つ形で、公表を行う予定です。

最後に、重ねて研究支援への御礼を申し上げます。

金山 泰志

同朋大学 文学部 人文学科 専任講師

〔研究課題名〕

昭和期日本における民衆の対中感情の検討

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回、本研究を遂行するにあたり研究奨励金をご支援いただきました日本私立学校振興・共済事業団及び支援者の皆様に心より感謝申し上げます。本奨励金で行った研究は、これまで自身が行ってきた研究とは、異なる角度からアプローチした研究であり、対外観研究に新しい視角を打ち出すことができたと考えております。

また、本研究課題は、今後の国際情勢を考える上でも、社会に大きく寄与するものであると考えます。現在の国際情勢を鑑みても、日本と中国という隣接する二つの大国の関係性は、日中両国それぞれの平和と繁栄の維持という点だけでなく、アジアさらには国際社会全体の平和と繁栄にも大きく作用します。ここで、重要となるのが、日中間の相互理解の問題です。私の専門分野である日本史からこの点に貢献できることがあるとすれば、日本側の中国理解に関する研究＝「日本の対中感情研究」の提示であり、日中関係を主に日本側の視点から問い直すこととなります。今後も、将来の日中関係を考える上で参考となるような研究を続けてまいりたいと思います。

GRAF Tim

南山宗教文化研究所 編集員

南山大学 人文学部 助教

〔研究課題名〕

新型コロナウイルスの影響と仏教

寄付者の皆様へ〔御礼〕

檀家の少ない僧侶、寺院を担当していない僧侶（いわゆる役僧）に焦点を当てることによって、今後も宗教師とマイノリティーの研究に注目する予定である。地域別の役僧の割合についてはこれまでの研究で分かったので、各地の役僧にフィールド調査を行う予定である。また、パンデミックという危機時における地域社会の宗教への社会的期待により当事者の立場に立って応答するという側面から考えれば、現世利益信仰と地域性の議論は欠かせない要素であると考えている。それは、寺社の御札と御守りの物質文化においても明確になる。今後の研究成果を論文執筆の上、学会発表で公開する予定である。（認定済み：Asian Studies Conference Japan（2022年7月）とAmerican Academy of Religion（2022年11月）。また、本研究の成果との関わりもあると思うが、日本学の講師としてイギリスのマンチェスター大学に呼ばれ、9月から日本の宗教、日本の仏教についての授業を担当することになった。

2021年度における新型コロナウイルスの影響と仏教について、フィールド調査に基づいた研究はあまりないので、かけがえのない研究だと言われることがあります。本研究の結果を高く評価する海外の研究者からのメッセージをこれまでいくつかもらいましたが、その感謝を支援者に伝えたいと思います。

2021年度の若手研究者奨励金のおかげで重要な研究ができて良かったと思います。心から感謝申し上げます。

足立 伸太郎

京都先端科学大学 ナガモリアクチュエータ研究所 助教

〔研究課題名〕

固体電解質を用いた空間電荷注入を高圧力下で行う新奇物性制御

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、本研究課題を採択、ご支援いただき誠にありがとうございました。

本奨励金はボトムアップ型の研究を支援してくださるという特徴があるため、研究者としては大変ありがたく心強い存在だと感じております。今後とも、後進の支援を続けていただけますよう何卒お願いいたします。

あらためまして、このたびご支援いただいた皆さま方に御礼申し上げます。

幸 龍三郎

京都薬科大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

破綻したリン酸化シグナルによるがん細胞分裂の支持機構解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

がん細胞特異的な分裂機構の探索を目的とした本研究に対して、ご支援いただきましたこと、心より御礼申し上げます。
ご支援により、がん細胞の分裂を支持するような分子機構を同定することができました。
今後、治療への応用に向けて更なる研究を進めていきたいと存じます。

森戸 克弥

京都薬科大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

うつ病マウス脳中セラミド1-リン酸量を減少させる酵素の同定

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究課題に対して、若手研究者奨励金としてご支援いただき、誠にありがとうございました。

現在、本研究課題にて得られた結果を基に、より詳細な検討を実施しています。引き続き本研究で見出した分子を標的としてうつ病発症メカニズムの解明、究極的にはうつ病治療薬の開発に貢献していきたいと考えています。

今後とも、基礎研究に対する継続的なご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

安川 千晶

京都光華女子大学 看護学科 成人看護学 助教

〔研究課題名〕

訪問看護師の心不全患者に対する看護の認識と実態

寄付者の皆様へ〔御礼〕

日本私立学校振興・共済事業団様には、いただきました奨励金により、本研究を遂行することができ、貴重な結果を得ることができました。心より感謝申し上げます。

2025年問題も、遠い事ではなく、老年期をいかに元気に過ごせるかが医療・社会・経済の面で重要です。看護基礎教育の1分野である成人看護学領域では、医療機関に入院する患者だけでなく、地域での暮らしを支えられる看護師を育成したいと考えています。医療を取り巻く変化は大きく、その時々の変化を学生が受け止め、社会に求められている看護職の課題を見極め、社会に貢献できる人材となれるように学生を育てたいと考えています。

本研究を基盤として、在宅看護を担う訪問看護師と医療機関に勤務する看護師の連携と知識・技術強化に向けたプログラムを開発し、心不全患者の再発予防、再入院予防に貢献したいと考えています。

岸田 広平

同志社大学 研究開発推進機構 及び 心理学部 特別任用助教

〔研究課題名〕

子どもの不安症と抑うつ障害に対する認知行動療法
－治療者トレーニングシステムの構築－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度はご支援頂きまして、誠にありがとうございました。

近年、小中学生の不登校が急増しており、年間20万件以上の不登校が報告されています（文部科学省、2021）。その大きな要因の1つが子どもの不安やうつに代表されるメンタルヘルスの問題であるといわれています。今後は、本研究で得られた結果を活用して、不安やうつを抱える子どもたちの支援につなげていければと考えております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

根来 亮介

立命館大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

ゲノム編集技術を用いた創薬応用可能な腸管モデルの作製



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、2021年度 若手研究者奨励金に採択して頂き誠にありがとうございます。

大学院を修了して間もないため、試薬や実験装置を何も所有していない状況で研究活動を開始しました。しかし、本研究助成により必要な試薬類を購入することができ、スムーズに研究に取り組むことができ、本研究課題の一部を論文化することもできました。本論文は、私が助教としては初めての論文であるため、大変思い入れのある仕事になりました。

本研究助成を含め様々な財団が若手研究者育成を目的とした研究助成を行っておりますが、競争は激しく、採択はかなり狭き門となっています。そのため、良い研究アイデアがあっても、予算の問題で実験できない若手研究者が身近にたくさんいます。大変恐縮ではございますが、大勢の若手研究者が研究助成を賜れるよう、引き続きご支援の程何卒お願い申し上げます。

最後になりますが、本研究助成により、研究成果を出せたものと実感しております。重ねてお礼申し上げます。

三重野 雄太郎

佛教大学 社会学部 公共政策学科 講師

〔研究課題名〕

ゲノム編集をめぐる法的・倫理的・社会的問題

寄付者の皆様へ〔御礼〕

2020年度、2021年度と2年連続で奨励金を頂きまして、心より感謝しております。本当にありがとうございました。
投資していただいているということを忘れずに、今後も研究に励みたく思います。

又吉 秀仁

大阪工業大学 特任講師

〔研究課題名〕

風車出力を増大する動的MPPT制御システムの開発
－風速変動による発電電力低下の改善－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

寄付していただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

当奨励金は研究を遂行する上での経済的支援という意味だけではなく、着任歴の浅い私にとっては精神的な支えにもなりました。今回頂いたご支援により、当該研究の根幹となる新規の風速変動指標化や、実験設備の構築を大きく進展させることができました。現在は機械学習による風速変動指標の補正や都市部の風速の周波数解析を行い、実用化の方法を模索しております。本研究成果を適応した発電制御システムにより、洋上風力発電や都市部における風力発電の発展に貢献できるよう努めて参りたいと思います。

井上 敏孝

常磐会学園大学 専任講師

〔研究課題名〕

戦前期の「職業体験実習(インターン)」に関する一考察
－「実習報文」から見た制度の沿革と歴史的意義－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

研究実施者は、本研究助成を得るまで、研究室を得て間もなく、研究資金が不足しておりました。しかし本研究助成を得たことで、研究課題に関する研究のスピードを加速し、令和3年度中に研究の成果をまとめ、当該研究の学会に投稿する論文を完成するに至りました。さらには、本研究の途上で新たに発見した研究課題についてまとめ、新たに2本の論文として作成し、学術誌に掲載される機会を得ることが出来ました。

このような機会を頂いた支援者の皆さまにこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。そして頂いた機会と研究の蓄積を糧に、さらなる研究・教育活動の推進と、当該研究の深化・発展に貢献できれば、ひいては研究の成果を公表することで、社会の発展に微力ながら貢献できることを切に願っております。

佐藤 大典

びわこ成蹊スポーツ大学 特別専任講師

〔研究課題名〕

競泳リレー競技における最速引き継ぎ動作の検討・提案
－性差に着目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究課題についてご理解頂き、支援して頂きました皆様に御礼申し上げます。

当初の予定通りの研究活動は行えませんでした。研究活動を通して様々な学びがありました。研究活動が行えない中においても、わずかでもいいので科学的知見を収集し、少しでも前に進んでいくことが大切であると実感することができました。

本研究助成の期間は終了しますが、やり残していることがあります。

本研究課題を奨励いただいた皆様の期待に応えるべく、感謝の気持ちを持ちながら自身の研究活動を実践していきます。

本当にありがとうございました。

東藤 真理奈

関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科 助教

〔研究課題名〕

手指の触覚と脊髄神経機能の興奮性の関係性
－F波の波形からわかること－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

多くの支援者様よりご寄付頂き、本研究を実現することができましたことを心より感謝申し上げます。

今回、感覚と運動との関係性について検討させていただく機会を頂き、難易度の低い運動課題であっても個人差があり、その個人差にはこれまでの経験や、筋骨格系の状態、さらには運動課題時のフィードバックの種類によるものなど、様々なバイアスが影響していることに気づくことができました。今回の研究をきっかけに、手指の巧緻性や随意性がどのようなメカニズムで獲得していき、どのようなフィードバック機構に頼っているのかについてさらに追求していきたいと思えます。

今回の研究期間では、新型コロナウイルスの影響もあり実験の継続が難しくなる時期もあったことから被検者が少ない状態で終了時期を迎えてしまいました。結果としてもまだ不十分な状態です。今後はさらに健常者の被検者を増やすと共に、高齢者や脊髄疾患を有した方においても検討実施を予定しております。

このような基礎研究の積み重ねが最終的には身体に不自由な方に対する評価・治療の一助になれるように今後も研究を継続していきます。

林 将也

学校法人順正学園 吉備国際大学 農学部 醸造学科 助教

〔研究課題名〕

淡路島の良質な乳・果実を用いた機能性乳酸発酵食品の開発

－兵庫県の一大農業地帯・観光地である都市近郊型地方の地域振興－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、私の研究活動にご理解・ご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

本奨励金により、本研究を実施していく上で重要な器具等（ヨーグルトメーカー、その他装置、キットなど）や食材・試薬・データ管理機器を購入させていただきました。今後の研究活動にも引き続き使用してまいります。

本研究の実施により、研究活動を進展させるための課題もみわかりました。これらを今後の研究活動および論文執筆や学会報告等へとつなげてまいります。

今後も、農学、発酵/醸造、地域創成/地域活性化をキーワードとした研究活動・教育活動を推進し、地方私立大学が学生・地域・社会に果たすべき本分を全うし、日本から世界に貢献するように努めてまいります。

私の研究成果がまわりまわって、いつかみなさまの生活の質を向上させる一助になることを願いつつ、精進いたします。

今後とも、研究活動ならびに関連分野の科学研究コミュニティへのあたたかいご理解・ご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

榎田 諭

福岡工業大学 工学部 知能機械工学科 助教



〔研究課題名〕

複合現実感を用いたロボット教示

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは私の研究活動に対して多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

この1年間の研究期間で今後の発展が期待できる成果を得ることができました。

ロボットによる生産・作業の自動化の拡大は今後、大きく期待される分野の一つと考えています。その実応用までには本研究で取り組む教示以外にも多くの課題がありますが、着実に問題を解決し、ロボティクス分野の発展に寄与したく存じます。

井上 快

東九州短期大学 助教

〔研究課題名〕

継続される儒者の講義

－明治前期の学校教育を手掛かりに－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

江戸時代には身分制度があり、社会階層によって修得すべき学問が異なりました。また出自によって学問レベルも異なりました。江戸時代の教育者たちは関心や学問レベルが異なる人びとに学問を教えなくてはなりませんでした。もちろん当時は教員養成課程などありませんから、それぞれの教育者が、それぞれの学習者と向き合うなかで、講義を工夫していきました。先人たちが蓄積してきた講義の工夫をひとつひとつ具に拾い上げていきたいと思えます。

学校教育の機能不全が指摘されて随分と経ちます。私が専門とする教育史研究は、そうした学校教育の機能不全の原因を、学校教育が誕生した明治時代、あるいはそれ以前まで遡って探求します。

貴奨励金を得ることで、微力ながらもわが国の学校教育の淵源に迫り、その一端を探求することができました。

ご支援いただきました関係者の皆様には、この場をお借りし、心より御礼申し上げます。